
みなとみらい線乗務員の新型コロナウイルス感染について

横浜高速鉄道株式会社（横浜市中区、代表取締役社長 鈴木 伸哉）では、かねてより新型コロナウイルスの感染予防対策を講じておりましたが、みなとみらい線に乗務する車掌が、新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

事象の詳細につきまして、以下の通りお知らせいたします。

1 判明日

2020年8月16日（日）

2 当該乗務員概要

- （1）年 代：50歳代
- （2）性 別：男性
- （3）所 属：東急電鉄株式会社（みなとみらい線運転業務委託先）

3 経過

- 当該乗務員は、8月10日に車掌業務を終え、翌8月11日から勤務を休み、8月13日に発熱症状が現れたため医療機関を受診し、翌8月14日にPCR検査を実施したところ、昨日8月16日に陽性であることが判明いたしました。
- なお、当該乗務員は8月11日から本日まで乗務していません。

4 状況・対応

- 当該乗務員は、勤務中、マスクを着用した上で、みなとみらい線及び東急東横線の車掌業務に従事しておりました。ご利用のお客さまとの接触につきましては、短時間かつ一定の距離をおいての接触に限られるものと認識しております。
- 当該乗務員が乗務した車両の乗務員室、乗務員詰所などの消毒作業は実施済みです。
- 濃厚接触者の有無等に関しては、業務委託先の東急電鉄株式会社が保健所の指導も仰ぎながら引き続き確認をしております。
- 当社としても、引き続き新型コロナウイルスのさらなる感染拡大を抑止するための対応を行ってまいります。

以上